

記憶 覚える/忘れる



2005.2.8 気仙沼市小々汐、かつての風景



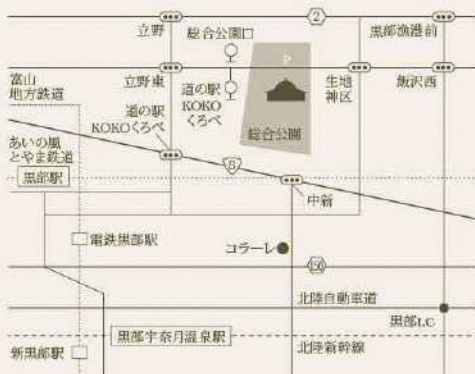
震災の記憶を忘れてはならないと言うが、では震災の記憶とは具体的に何を指しているのか。記録された写真のことだろうか。それとも被災者、死者、行方不明者の数、経済的被害額などのことだろうか。それとも「震災はまだ終わっていない」というイメージのことだろうか。

「I will never forget = 私は絶対に忘れないだろう」「I remember = 私は覚えている」。この英語表現で用いられている二つの単語、Forget (忘れる)、Remember (覚えている・思い出す)の意味は真逆である。では「震災の記憶を忘れてはならない」という場合はどちらの言葉を使うべきだろう。

被災した私たちは「忘れない」のではなく「忘れられない」のである。しかし被災者の多くは「忘れない」と願い、「思い出したくない」と言う。つまり覚えているのだ。では被災者以外はどうなのだろう。まず東日本大震災がどんなものだったのか、きちんと覚えているだろうか。覚えていないことは忘れようがない。そもそも忘れる記憶を持っていないのだから。

また、震災以降に生まれた者は、当然震災の記憶を持っていない。まずは覚えてほしい。記憶を獲得してほしい。

東日本大震災を考える我われのキーワード / 『リアス・アーク美術館常設展示図録 東日本大震災の記録と津波の災害史』 リアス・アーク美術館、2014年より



- あいの風とやま鉄道「黒部駅」から
徒歩 約7分
- 石田三日月線北ルート(平日のみ)
「総合公園口」下車徒歩6分
生地循環線 道の駅KOKOくろべ行き
「道の駅KOKOくろべ」下車徒歩9分
- 北陸新幹線「黒部宇奈月温泉駅」から
徒歩 約20分
- 富山地方鉄道「新黒部駅」富山方面→
「電鉄黒部駅」→バス
- 生地循環線 道の駅KOKOくろべ行き
「道の駅KOKOくろべ」下車徒歩9分



黒部市美術館

〒938-0041
富山県黒部市堀切1056
TEL/FAX 0765-62-6011

公共交通機関ご利用の方は「黒部市内全域公共交通マップ」をご参照ください
<http://www.kurobe-koukyoukoutsuu.jp/map/>

